

(様式第030号)

建設キャリアアップシステム事業者 ID をお持ちの場合
はその番号を転記してください。

記入例 (旧証紙交換) 310円→320円

共 済 証 紙 受 払 簿

←期首で必ず入力してください。

共済契約者名 けんたい建設株式会社				⑬決算日 4 年 3 月 31 日		残高 (A)-(B)		払出欄の貼付の内訳		更新年月日		備考
①共済契約成立年月日(※H)R 23 年 4 月 1 日				⑭前項(前頁)からの繰り越し日数(「0」でも)を必ず入力してください。		決算期間 3 年 4 月 1 日 ~ 4 年 3 月 31 日		貼付人員		就 労 月		手帳更新数
②共済契約者番号 92 - 9999								6		3年3月分		() 日 冊
③建設キャリアアップシステム事業者ID 12345678901234								5		3年4月分		() 日 冊
受入・払出 年月日	受 入	払 出	残 高	貼 付	下 請 へ 交 付	計 (B)	(A)-(B)	貼付人員	就 労 月	更新年月日	備考	
前期(前頁)繰越 3年4月1日	金融機関名 〇〇銀行	元請から受入 20	計 (A) 100	日分 120	日分 120	日分 120	日分 0	人	3年3月分	年 月 日 冊		
3年5月3日	金融機関名 〇〇銀行	元請名 300	日分 420	日分 100	日分 220	日分 200	日分 200	人	3年4月分	年 月 日 冊		
3年6月5日	金融機関名 〇〇銀行	元請名 道路建設(株) 700	日分 700	日分	日分	日分	日分	人	3年5月分	年 月 日 冊		
3年7月5日	金融機関名 〇〇銀行	元請名	日分	日分	日分	日分	日分	人	3年6月分	年 月 日 冊		
3年8月3日	金融機関名 〇〇銀行	元請名	日分	日分	日分	日分	日分	人	3年7月分	年 月 日 冊		
3年9月5日	金融機関名 〇〇銀行	元請名	日分	日分	日分	日分	日分	人	3年8月分	年 月 日 冊		
3年10月2日	金融機関名 〇〇銀行	元請名	日分	日分	日分	日分	日分	人	3年	年 月 日 冊		
3年10月12日	金融機関名 〇〇銀行	旧証紙交換 -240	日分 880	日分	日分	日分	日分	人	年 月 分	年 月 日 冊		
3年10月12日	金融機関名 〇〇銀行	新証紙受入 233	日分 1,113	日分	日分	日分	日分	人	年 月 分	年 月 日 冊	差額金 160円	
3年11月4日	金融機関名 〇〇銀行	元請名	日分	日分	日分	日分	日分	人	3年10月分	年 月 日 冊		
3年12月1日	金融機関名 △〇銀行	元請名 34	日分	日分	日分	日分	日分	人	年11月分	3年12月5日 (3) 日 冊		
4年1月10日	金融機関名 〇〇銀行	元請名 60	日分 1,207	日分	日分	日分	日分	人	3年12月分	年 月 日 冊		
決算期間内の合計	頁計 407 累計 407	頁計 700 累計 700	頁計 129,440 累計 129,440	頁計 700 累計 700	頁計 300 累計 300	頁計 93,000 累計 93,000	頁計 147 累計 147	④決算日の被共済者数 3	建 退 共 確 認	⑤決算期間内の手帳更新数の 3	差額金 合計 160円	

令和3年10月12日 〇〇銀行で旧証紙交換
310円証紙240日分 → 320円証紙233日

残った旧証紙240日分を金融機関で交換したら、持ち込んだ枚数(日数)を購入欄にマイナス(-)計上して交換後の新証紙233日を再度購入欄で受け入れてください。

310円証紙から320円証紙への交換時に発生した差額金(金融機関へ支払った差額金)

$$((20 + 300 - 240) \times 310) + ((233 + 34 + 60) \times 320) = 129,440 \text{円}$$

現在、入力フォーム (Excel) で作成されている場合は、310円で計算式が入っています。手計算して算出した金額を直接入力してください。